

たばたあずみ



Tel・Fax 550-6674

山根とみえ



Tel・Fax 550-4224

戸沢ひろゆき



Tel・Fax 558-9721

# 平成25年度一般会計予算反対討論

3月定例市議会で平成25年度の予算審議が行われました。日本共産党市議団を代表して、山根とみえ議員が一般会計予算に対する反対討論を行いました。以下、討論の全文をお知らせします。

## はじめに

厳しい経済不況が続く中、昨年の総選挙で自民党の安倍政権が復活しました。「アベノミクス」と称する安倍内閣の経済政策への期待もあり、急な円安・株価の上昇などの現象が起こっています。こうしたことから景気への期待感がある一方で、円安の影響でガソリンや灯油価格の連続上昇は家計の負担を直撃しています。また一部企業で賃上げを表明しているところもでてはいえ、派遣などの非正規労働者にはまだまだ賃上げは波及せず、景気回復については依然として不透明な状況にあります。

## 依然として厳しい経済状況

予算の大綱では、当市においても、社会保障関係費の増加や公債費が高い水準で推移することなどにより、引き続き厳しい財政運営を見込んでいと述べています。そうした状況下において、市民が納めた税金をどのように配分し、どの部分に優先的に使うかが問われています。

それでは、予算の内容について意見を述べさせていただきます。

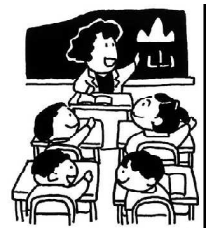
歳入については、歳入の根幹となる市税のうち市民税では、個人市民税が前年度比で862万1千円とわずかではありますが増額を見込んでいます。これは徴収率を上げたことなどが要因で、所得はほぼ前年度と横ばい状態という報告がされました。また法人市民税については前年度比マイナス426万5千円と大幅減を見込んでおり法人税率の引き下げと企業業績の停滞がその要因であるということからも景気低迷の影響がうかがわれます。

## 小中学校のエアコン設置 市民の運動が実る

歳出について申し上げます。

最初に、遅れていた学校のエアコン設置について、当初25年度に中学校、26年度に小学校を予定していましたが、今年度前倒しで、一気に小中学校に設置する予算が計上されました。まずは本当に

良かったと思います。市が今年度設置を決断した背景には、東京都の補助金が25年度までしか延長されないことなどもあり、補助金がつくうちに一気に設置することを決断したということも聞いております。担当課のご努力に感謝を申し上げますと共に、何よりも、暑い中を子どもたちのためにたくさんの署名を集めてがんばった市民のみなさんの熱意が市や議会を動かしたものと思っています。



## 「るのバス」は、 いまだ1台のまま

次に、市民の足の確保、交通対策についてです。今回、交通不便対策として、バスが入れない盆堀地域の交通対策事業費146万6千円とわずかではありますが予算がつかしました。この地域は、道路も狭くバスも入れず、路線バスの停留所まで行くにも時間がかかり大変不便な思いをしている地域ですので、この事業が成功することを願っています。

問題は、交通不便対策として平成12年10月から運行している「るのバス」です。運行を開始して今年で13年目を迎えますが、いまだにバス1台でこの広いあきる野市を運行しているため、本数も少なく、土・日の運行もなく、一回りに時間がかかりすぎるなど、利用しにくい運行形態になっています。現在、多摩26市で循環バスを運行している自治体の中で1台だけはあきる野市だけです。約1100万円の運行経費をこれ以上増やせないというのがその主な理由ですが、高齢化が進む中で足の確保は重要な課題です。最低でもバスを3台に増やし、市の当初計画どおり、運行コースを3コースにするなどし、早急に利用しやすく改善するよう求めます。

## 郷土の恵みの事業に2600万円

さらに「郷土の恵みの森事業」経費については、今年度も森づくり事業経費に601万5千円、森づくり森林レンジャー経費に2045万7千円、合計2647万2千円計上されています。郷土の恵みの森事業については、開発に失敗し売れ残った山林を31億円借金をして買い戻しましたが、今後、この分の返済として毎年1億4千万円づつ、25年間市民の税金で負担していかなければなりません。そうしたことから考えても、この事業に毎年多額の予算をつぎ込むことについては市民からも疑問の声が上がっています。こうした、企業誘致に失敗した開発行為を考えたとき、今後予定されている旧秋川高校跡地の土地利用計画についても、見直しをすることが必要ではないでしょうか。

## 市民サービスカットつぎつぎに

次に行財政改革についてです。

市は行財政改革と称して様々な市民サービスをカットしてきました。例えば町内会・自治会活動や修学旅行への補助金カットが行われ、この3年間で約1億円もの補助金カットが行われています。健康増進として多くの市民が利用しているいきいきセンターの温水プール740万円の経費削減のために冬季休業を継続しています。「めざせ健康あきる野21」「地域いきいき健康づくり事業」の主旨からも、通年をとおした運営をするよう求めます。

また今年度、市民課の窓口業務や中央図書館増戸分室を、行政改革の一貫として経費節減のために民間委託する方針が提示されました。窓口業務や、図書館業務については、個人情報をしっかり守っていく必要があることから、民間委託はなじまない分野だと思えます。この業務を行政改革の対象にすべきではないと考えます。

## 税金の使い方の問題

市は、財政が厳しいからといって更なる行財政改革を進め市民サービスをカットする一方で、多額の予算を投入している部分もあります。

例えば、今年度開催される国民体育大会にかかる経費は、今年度だけでも運営経費や会場整備事業経費など、地方債2400万円を含め約1億3600万円、平成21年度から25年度までの合計では地方債4700万円を含め、約2億1500万円を市が持ち出しています。市の財政事情から考えたとき、東京都に対して更なる財政支援を求めるべきです。

また、武蔵引田駅周辺地区土地区画整理事業経費として、今年度も1208万2千円計上されています。本議会の議論の中でも、この地域の区画整理事業が、いつ頃着手されるのかなど明確なことは示されませんでした。地権者から下水道を早く設置してほしいなどの要望も出ています。今後の事業の進め方については、住民の声をよく聞き、場合によっては一部事業の見直しも含め検討し、今後の見直しについて住民に説明できるような努力をお願い致します。

## くらし・福祉・教育優先に

日本共産党市議団が行ったアンケート調査では、63.3%の方が生活が苦しくなったと答えています。また国民健康保険税や介護保険料の軽減を求める声もたくさん寄せられています。

自治体の本旨は住民の福祉の増進を図ることです。財政が厳しいときだからこそ、住民の暮らしや福祉・教育最優先に税金を使うべきです。

以上、意見を申し上げ、平成25年度、あきる野市一般会計予算に対する反対討論とします。

## 6月議会日程

- 5月27日(月) 請願・陳情締切
- 6月4日(火) 初日 議案審議
- 6月6日(木) 総務委員会(午前)  
環境建設委員会(午後)
- 6月7日(金) 福祉文教委員会
- 6月10日(月) 一般質問
- 6月11日(火) 一般質問
- 6月13日(木) 最終日



## 法律相談

5月23日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。